

## 訪日外国人旅行者の状況と消費等について

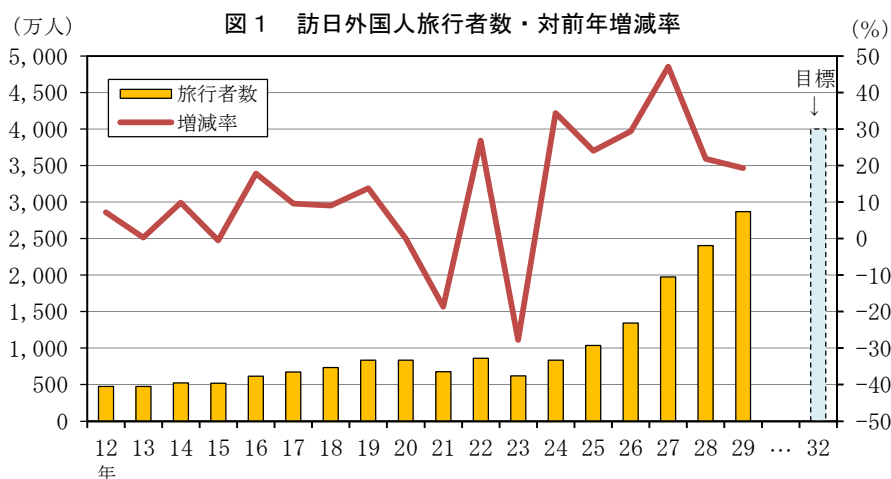
平成 30 年 1 月 16 日に日本政府観光局は、平成 29 年の 1 年間に日本を訪れた外国人旅行者（訪日外客）が 2,869 万 1 千人（推計）と、また同日、国土交通省観光庁は、同年の訪日外国人旅行者による消費額が 4 兆 4,161 億円（速報値）になると発表しました。

ここ数年、急速に増加している訪日外国人旅行者の状況と消費等についてみてみたいと思います。

### ○訪日外国人旅行者数（平成 12 年～平成 29 年・全国）

日本を訪れる外国人旅行者は、ビザ（査証）の取得要件緩和など様々な効果により、ここ数年、急速に増加しています。

外国人旅行者数の推移は、平成 12 年（475 万 7 千人）以降、緩やかに増加していましたが、21 年はリーマン・ショック（前年比△18.7%）、23 年は東日本大震災（同△27.8%）の影響により、それぞれ前年の 800 万人台から 600 万人台に減少しました。24 年以降は増加を続け、29 年には 2,869 万 1 千人（推計・同 19.3%）となりました。（図 1）



（注）「目標」は、「明日の日本を支える観光ビジョン」の 2020 年の政府目標。  
資料：日本政府観光局「訪日外客数」

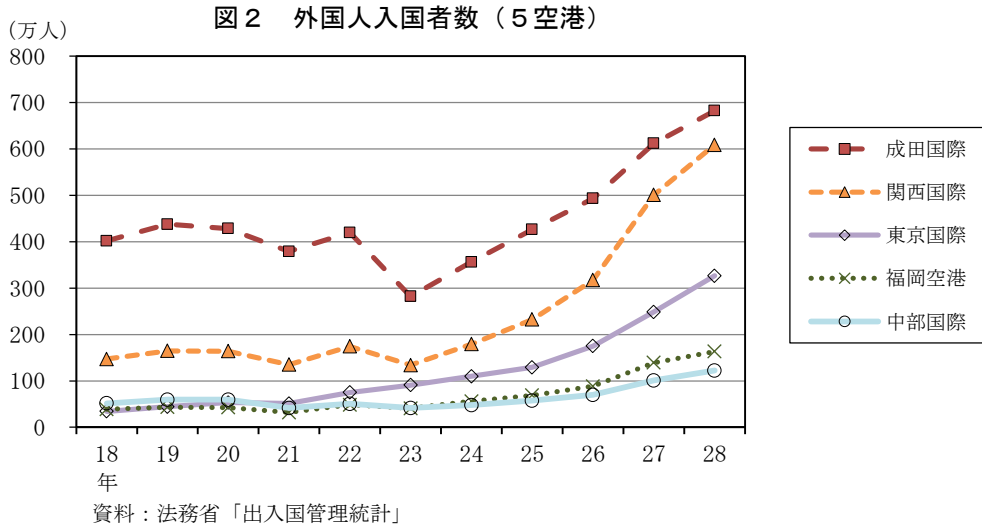
### ○国内主要空港における外国人入国者数（平成 18 年～平成 28 年）

平成 28 年の法務省出入国管理統計（「港別出入国者」）から、同年に入国した外国人（2,322 万人）について、空港と港の利用割合を算出すると、97.4%の人（2,262 万人）が空港を利用しています。

同年に空港を利用して入国した外国人は、成田国際、関西国際、東京国際、福岡、那覇、中部国際、新千歳の順に多く、この 7 空港で空港利用者の 92.7%（2,153 万人）を占めています。

この 7 空港のうち、本州と九州の 5 空港を利用して入国した外国人（1,903 万人）の推移をみると、概ね 23 年以降、成田国際、関西国際、東京国際の 3 空港が大幅に増加しています。

これは、成田国際や関西国際については、LCC（低コスト航空会社）専用ターミナルを整備したことや、東京国際では 4 本目となる滑走路が供用開始されるなど、就航環境等が進んだことが要因と考えられます。（図 2）



○中部国際空港国際線の着陸回数・外国人入国者数（平成18年～平成28年）

中部国際空港国際線の着陸回数及び外国人入国者数の推移をみると、19年（着陸回数20,737回、入国者数60万人）から23年にかけて減少しましたが、その後は増加を続け、28年には着陸回数は19,584回まで回復し、入国者数は122万人となりました。（図3-1）

28年の着陸回数は19年と比べ同程度ですが、外国人入国者数は約2倍となりました。これは入国する外国人の割合が年々増加傾向にあり、18年時点ではおよそ21%だった外国人の割合は、28年には46%を超えるまで増加しています。（図3-2、図3-3）

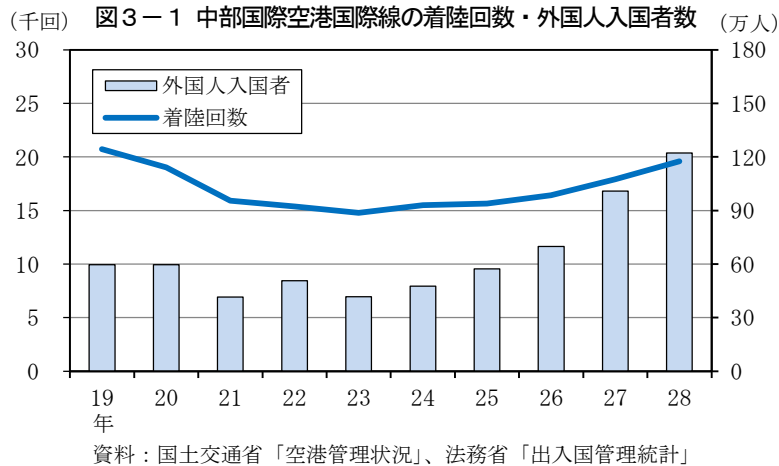


図3-2 中部国際空港入国者（日本人、外国人別）

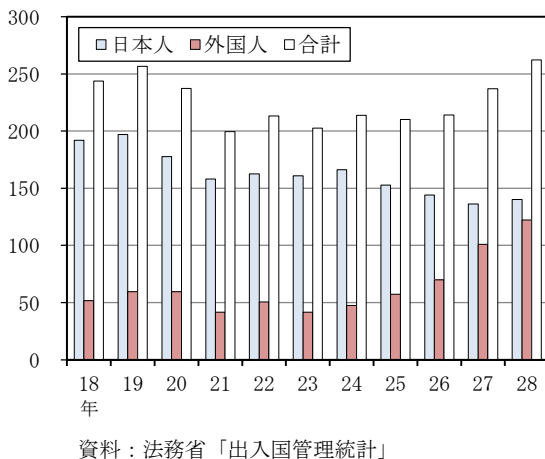
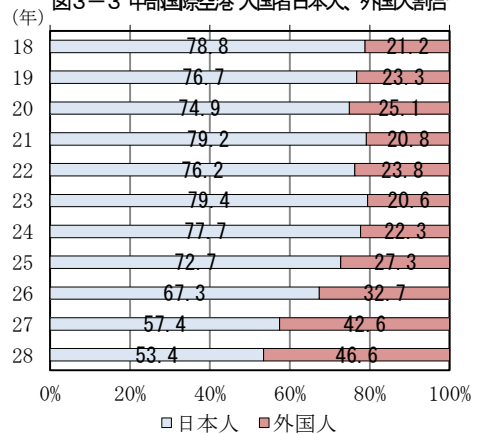


図3-3 中部国際空港 入国者日本人、外国人割合

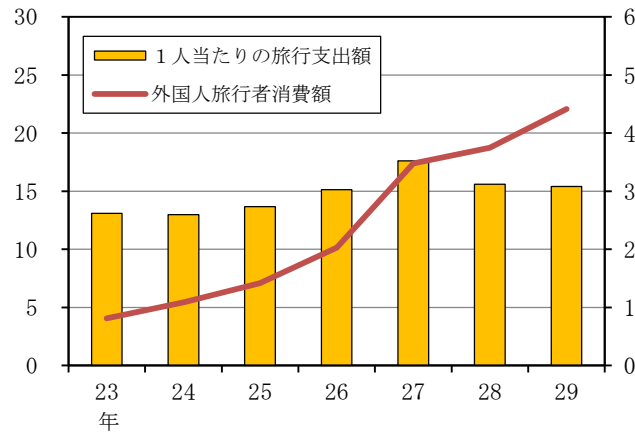


## ○外国人旅行者による消費額（平成23年～平成29年）

外国人旅行者による消費額の推移をみると、23年は8,135億円でしたが、その後は年々増加し、28年は3兆7,476億円、29年には4兆4,161億円（速報値・前年比17.8%増）となりました。

また、旅行者1人当たりの旅行支出は、23年（13万819円）から概ね増加が続き、27年には17万6,167円となりましたが、28年は15万5896円（同△11.5%）、29年には15万3,921円（速報値・同△1.3%）と2年連続して減少しました。（図4）

（万円） 図4 外国人旅行者による消費額（全国）（兆円）

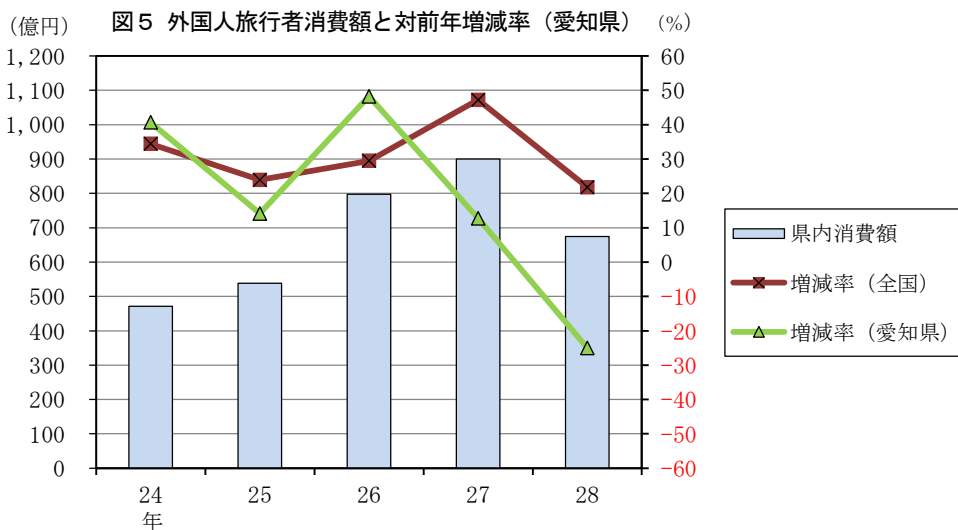


資料：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」

## ○外国人旅行者による愛知県内の消費額（平成24年～平成28年）

外国人旅行者による愛知県内の消費額をみると、24年は472億円でしたが、その後は年々増加し、27年には900億円となりました。しかし28年には、675億円（前年比△25.0%）まで減少しました。

また、消費額の対前年増減率を全国と愛知県で比較してみると、24、25年は大きな差はありませんでしたが、26年に愛知県は全国よりも高い伸びを示した後、27、28年は2年連続して全国平均よりも下回りました。これは他の空港で入国する外国人旅行者数が大きく伸び、それに伴い消費額も増えたことが影響しているものと思われます。（図5）

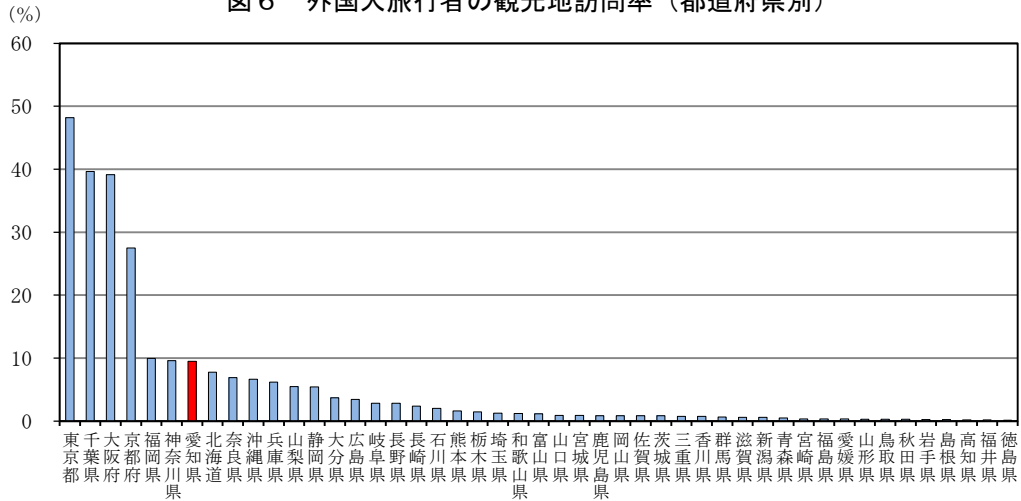


資料：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」  
愛知県振興部観光振興課「愛知県観光入込客統計」

### ○外国人旅行者の観光地訪問率（平成 28 年・愛知県・全国）

外国人旅行者による愛知県内の観光地への訪問率をみると、平成 28 年は 9.5% となり、都道府県の中では訪問率が高い方から 7 番目となっています。  
 また訪問率は、東京都 (48.2%)、千葉県 (39.7%)、大阪府 (39.1%)、京都府 (27.5%) の 4 都府県が特に高い結果となっています。(図 6)

図 6 外国人旅行者の観光地訪問率（都道府県別）

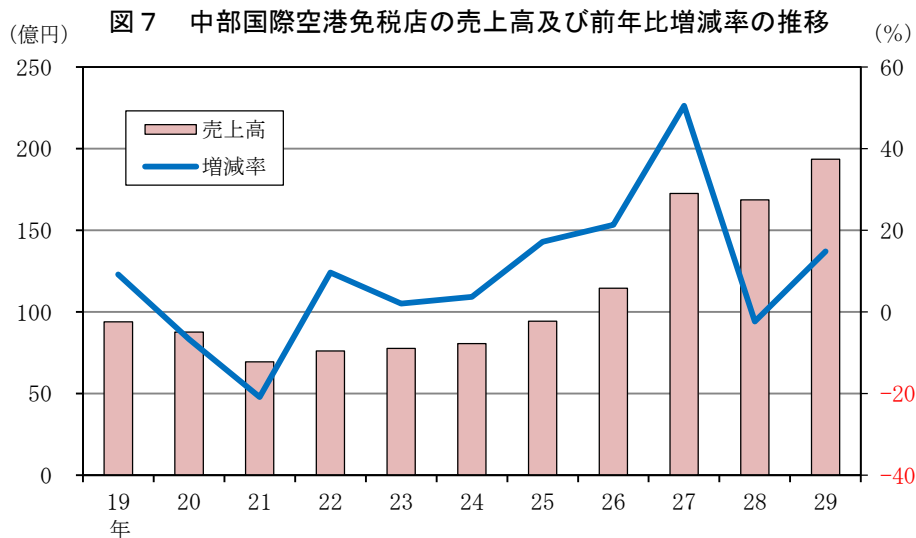


(注) 同一都道府県内で複数の観光地点を訪問する場合は複数回答となるため、都道府県分を合計しても 100%にはならない。

資料：国土交通省観光庁「訪日外国人消費動向調査」

### ○中部国際空港免税店の売上高（平成 19 年～平成 29 年）

中部国際空港免税店の売上高の推移についてみると、19 年 (94 億円) から 2 年連続して減少し、21 年には 69 億円 (前年比△20.8%) となりました。その後は 28 年を除き増加が続き、29 年には 194 億円 (速報値・同 14.8%) となりました。(図 7)



資料：中部国際空港株式会社「中部国際空港実績一覧」